

徳山工業高等学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	芸術（書道）	
科目基礎情報							
科目番号		0040		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		機械電気工学科		対象学年		2	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		教育図書 書道I					
担当教員		菊地 右馬,山本 伸					
到達目標							
楷書・行書・篆書・仮名の基礎と漢字かな交じり書の習得							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		基本を十分に意識して創作することができる。		基本を意識して創作することができる。		左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 C 2							
教育方法等							
概要		書を愛好し、書写能力を高め、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、学習意欲を高める。書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かに自分の表現へと発展させる。					
授業の進め方・方法		中国の古典、日本の古筆の臨書を通して、基本的な結構、用筆法を身につける。多様な書を鑑賞、揮毫することで、書体の変遷を経て、今日に至っているかを理解し、創作へと発展させる。					
注意点		評価法： 毎回作品を提出し、採点をする（7割）意欲、態度、鑑賞力(関心)（各1割） 展覧会					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	【前期】 書写と書道の違いについて 楷書の時代的背景の理解と、用筆、運筆法の理解 ①九成宮醴泉銘 ②雁塔聖教序 ③牛橛造像記 ④孔子廟堂碑 ⑤顔氏家廟碑より 2点選択臨書 行書の成立との理解と、王羲之の書道史における位置、用筆、運筆法の理解 蘭亭序 中国地方高校生書道大会出品作品制作				
		2週	王羲之 蘭亭序				
		3週	王羲之 蘭亭序 2				
		4週	王羲之 蘭亭序より二字選択				
		5週	王羲之 蘭亭序より一字創作				
		6週	楷書 九成宮醴泉銘				
		7週	楷書 九成宮醴泉銘 2				
		8週	雁塔聖教序				
	2ndQ	9週	雁塔聖教序 2				
		10週	自習				
		11週	牛橛造像記				
		12週	楷書と行書の時代的背景と共に違いを認識する				
		13週	中国地方高校生書道大会出品作品 練習				
		14週	中国地方高校生書道大会出品作品 清書				
		15週	篆刻 印僞を作る				
		16週	篆刻 実際に彫る				
後期	3rdQ	1週	【後期】 風信帖 日本の書における空海の歴史的意義と臨書 ・篆刻 篆刻2点制作のため、篆書の説明と篆刻作品鑑賞 名前の篆書体を確認すると共に、デザイン ・構成を思考。 ・仮名文字 仮名の流麗美の原理と、変体仮名、和様体を理解する 基本線（いろは歌・連綿 高野切3種） ・山口県高校生書道大会作品制作 ・書初め 念頭の所感を漢字一字で、揮毫 ・漢字仮名交じりの書（作品制作）作品を提示し、作風の変遷とその表現の多様性を認識させ、近代詩文書に対する興味と関心を喚起 ・今の自分を漢字仮名交じりの書で表現する。 落款・展示・批評				
		2週	篆刻				

		3週	篆刻 完成	
		4週	風信帖 山口県高等学校書道展	
		5週	風信帖 山口県高等学校書道展 完成	
		6週	仮名の基本を学ぶ	
		7週	仮名の連綿	
		8週	仮名のちらし書き	
	4thQ	9週	仮名文字で和歌を書く	
		10週	仮名文字で和歌を書く 2	
		11週	年賀状を書く	
		12週	創作	
		13週	創作	
		14週	創作	
		15週	創作	
		16週	創作	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	提出作品	関心	意欲	態度	合計
総合評価割合	70	10	10	10	100
基礎的能力	70	10	10	10	100